

- 問1 山形市北部の緑橋付近を流れる馬見ヶ崎川の流路は、1949年当時に比べてどのように変化しましたか。その特徴と背景について説明したものを
選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 工業用水を確保するために、羽羽本線に並行した大規模な運河として作り替えられた | 2. 住宅地の浸水を防ぐため、以前よりもさらに大きく蛇行させて流速を落とす工夫がなされた | 3. 河川改修が行われ、蛇行していた流れが道路や鉄道に沿うように直線的な形状になった | 4. 仙山線の高架化に伴い、鉄道の西側を流れていた川が東側へと大きく移設された |
|---|--|--|---|
- 問2 東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する | 2. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす熱い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる | 3. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する | 4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす |
|--|--|--|---|
- 問3 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧から太平洋側に吹き込み、奥羽山脈の東側で気温が上がらなくなる原因となる冷たく湿った風を何
といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|
| 1. モンスーン | 2. フェーン現象 | 3. からっ風 | 4. やませ |
|----------|-----------|---------|--------|
- 問4 東北地方の太平洋側では、特定の気象条件によって農作物の収穫量が大きく減少する「冷害」が発生することがあります。この冷害が起こる仕組みと直接的な影響について説明したものとして、最も適切なものを選んでください。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本海側から山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風により、農地が乾燥し、作物の水分が奪われて枯れてしまう。 | 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の風により、激しい吹雪が発生し、冬の農作物が凍結してしまう。 | 3. 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。 | 4. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気の影響で、記録的な大雨が長時間降り続き、農地が浸水被害を受ける。 |
|---|---|--|---|
- 問5 福島県の沿岸部におけるエネルギー供給の歴史と、社会への影響について述べた文として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 沿岸部には原子力発電所が立地し、東日本大震災以前は首都圏である関東地方へ多くの電力を供給する重要な拠点となっていた。 | 2. 広大な県土を流れる河川を利用した水力発電が主力であり、その電力は主に県内の電気機械工業の工場で消費されている。 | 3. 2008年から2018年にかけて海面漁業従事者が減少したのは、沿岸部のすべての漁港が火力発電所の建設用地として転用されたためである。 | 4. 東日本大震災の発生により、関東地方への電力供給を維持するために、県内の全域で太陽光発電パネルの設置が法律で義務付けられた。 |
|---|--|---|--|
- 問6 1980年の東北地方における水稻収穫量を平年と比較した統計資料では、青森県や岩手県などの太平洋側の地域において、収穫量が平年の半分以下になるという深刻な状況が記録されています。このような冷害が発生する主なメカニズムとして、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 冬の間に降り積もった雪が夏まで残り、水田の温度が上がらなくなるため | 2. 台風の接近回数が増加し、強風と洪水によって稲がなぎ倒されるため | 3. 夏に雨がほとんど降らなくなることで、大規模な干ばつが発生するため | 4. 夏の北東風が低温と日照不足をもたらすため、稲の生長を妨げるため |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問7 東北地方の中央部を南北に貫く奥羽山脈が、地域の気候に与えている影響についての説明として最も適切なものを選んでください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 山脈が風を遮らない構造であるため、冬の太平洋側でも日本海側と同様に連日雪が降り続く。 | 2. 夏の冷たく湿った北東風（やませ）を遮ることで、日本海側における冷害の発生を完全に防いでいる。 | 3. 標高が非常に高いため、山脈の周辺地域は一年中熱帯収束帯の影響を受けやすくなっている。 | 4. 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側に大雪をもたらすため、太平洋側を乾燥させる要因となっている。 |
|---|---|---|--|
- 問8 東北地方の工業に関する統計において、製造品出荷額の構成比を確認すると、金属工業が21.3%、化学工業が16.4%であるのに対し、約4割にあたる39.9%を占めて最大となっている産業部門を選択してください。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 1. パルプ・紙工業 | 2. 機械工業 | 3. 食料品工業 | 4. 繊維工業 |
|------------|---------|----------|---------|
- 問9 近年、内陸部において高速道路のインターチェンジ付近に「工業団地」が造成され、工場が進出するケースが増えています。その立地理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 原材料の輸入や製品の輸出に便利で、大型船が入る港湾が近い | 2. 周辺に大消費地があり、製品を直接消費者に販売しやすい | 3. 古くから豊富な地下資源があり、燃料の調達が容易である | 4. 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良い |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問10 東北地方の地方中枢都市である仙台市の地理的な特徴や役割について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 福島県に位置し、東北新幹線の沿線として関東地方への通勤圏としての役割が強い。 | 2. 青森県に位置し、津軽平野を中心としたリンゴ栽培の集散地としての機能している。 | 3. 宮城県に位置し、東北地方全域を管轄する国の出先機関や企業の支店が多く集まっている。 | 4. 山形県に位置し、奥羽山脈の西側で果樹栽培の中心地としての役割を果たしている。 |
|---|---|--|---|
- 問11 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいので、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。 | 2. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。 | 3. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。 | 4. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。 |
|---|--|---|--|
- 問12 日本の伝統的工芸品の継承に関する記述として、現代の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 職人の技術を活かしながら、現代のライフスタイルに合う実用的な製品を開発し、国内外の需要に応えようとしている。 | 2. 後継者不足を解消するために、伝統的工芸品の定義から「手作業」という条件を外し、完全に機械化された製品を推奨している。 | 3. 伝統を守るために、現代の生活用品との融合は避け、古くから伝わる儀式や祭礼のための道具のみを製造している。 | 4. 安価な輸入製品に対抗するため、伝統的な技法を捨てて、全ての工程を海外の工場での自動生産に委託している。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 河川改修が行われ、蛇行していた流れが道路や鉄道に沿うように直線的な形状になった	古い地形図において緑橋付近の馬見ヶ崎川は蛇行して流れていましたが、新しい地形図では道路や鉄道といった既存の人工物に沿うような直線的な流路に変更されています。これは洪水を防ぐための河川改修（治水事業）によるもので、土地を効率的に利用するために行われる一般的な地形の変化です。
問2	答え 3 オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。
問3	答え 4 やませ	この風は北東の海から吹き込み、冷たく湿った空気を運んできます。東北地方を南北に走る奥羽山脈に遮られることで太平洋側の地域に留まりやすく、夏でも気温が上がらない原因となります。冬に関東地方などで吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温になる「フェーン現象」とは異なる特徴を持ちます。
問4	答え 3 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。	冷害の主な原因は、初夏から夏にかけて吹く「やませ」です。この北東の風が長期間吹き続けると、太平洋側の地域を中心に気温が平年より大幅に低くなり、さらに濃霧によって太陽の光が遮られます。その結果、稲などの農作物が十分に育たなくなり、収穫量に深刻な打撃を与えます。これに対し、山を越えて吹く高温乾燥の風はフェーン現象と呼ばれ、冷害とは逆の現象です。
問5	答え 1 沿岸部には原子力発電所が立地し、東日本大震災以前は首都圏である関東地方へ多くの電力を供給する重要な拠点となっていた。	福島県の太平洋沿岸部（浜通り）には複数の原子力発電所が建設され、主に東京電力の供給区域である関東地方に電力を送っていました。しかし、2011年の東日本大震災に伴う原発事故により、地域の産業や人々の生活、そして日本のエネルギー政策は極めて大きな影響を受けました。統計上、震災以降に海面漁業従事者が減少傾向にあるのも、こうした災害の影響が背景にあります。
問6	答え 4 夏の北東風が低温と日照不足をもたらし、稲の生長を妨げるため	「やませ」が吹くと、太平洋側の地域では濃い霧が発生しやすくなります。この霧が日光を遮る「日照不足」と、風そのものが持つ「低温」という2つの要因が重なることで、稲が十分に育たず収穫量が激減する冷害を引き起こします。1980年は特にその影響が顕著だった年として知られています。
問7	答え 4 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる要因となっている。	奥羽山脈は気候を分ける壁の役割を果たしています。冬には日本海からの湿った季節風が山脈にぶつかるため、日本海側で多くの雪が降ります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は乾燥しているため、太平洋側では晴天が多くなります。また、夏に吹く「やませ」については、主に太平洋側に冷害をもたらす要因となります。
問8	答え 2 機械工業	東北地方では、高速道路網（東北自動車道など）の整備が進んだことにより、IC（インターチェンジ）付近を中心に自動車や電子部品の工場進出が相次ぎました。その結果、従来の地場産業や食料品工業に代わって、輸送用機械や電子機械などの機械工業が製造品出荷額の中で最も大きな割合を占めるようになっていきます。
問9	答え 4 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため	高速道路の整備により、内陸部からでも空港や大都市圏へ短時間で製品を輸送できるようになったことが主な理由です。特に半導体などの軽量で高価な製品は、船ではなくトラックや飛行機で運ばれることが多いため、港湾よりも高速道路や空港へのアクセスが重視されます。選択肢にある「港湾が近い」というのは、鉄鋼業や石油化学工業などが集まる「臨海工業地帯」の立地理由です。
問10	答え 3 宮城県に位置し、東北地方全域を管轄する国の出先機関や企業の支店が多く集まっている。	仙台市は、宮城県の太平洋側に位置する東北地方最大の都市です。政治・経済において東北地方全体をまとめる「地方中枢都市」としての機能を備えており、中央官庁の出先機関（東北局など）や民間企業の支店が集中しているのが大きな特徴です。このように特定の地域の中核となる都市を地方中枢都市と呼びます。
問11	答え 4 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。	土地利用の状況を示す指標として「総面積に対する耕地面積の割合」があります。宮城県は仙台平野という米づくりに適した平野部を持つため、この割合が約17.2%となっており、面積の大きい青森県（約15.5%）よりも高い比率で土地が耕作に利用されています。岩手県や秋田・山形の米の生産割合については、統計上そこまで極端な集中（7割超や2県で過半数など）は見られません。
問12	答え 1 職人の技術を活かしながら、現代のライフスタイルに合う実用的な製品を開発し、国内外の需要に応えようとしている。	多くの伝統的工芸品の産地では、後継者不足や市場の縮小が大きな課題となっています。この解決策として、南部鉄器のIH対応化や津軽塗のデジタル機器への応用のように、伝統技術を現代のデザインや用途に融合させることで、日本国内だけでなく海外市場へも魅力を伝える取り組みが進められています。